

皮膚科の現状と未来

大 藤 聡

キーワード：皮膚科診療備品；外来でのプライバシー；関連各科との連携

(雲南市立病院医学雑誌 2019; 16(1): 34-35)

診療体制の変遷

当院は昭和23年3月開設以来、令和元年をもって開業72年度となります。平成3年度以前は招聘された島根医科大学の非常勤医師による診療がおこなわれていました。初代常勤医師は同大学から派遣された三原昌子先生で、最近では平成8年1月から平成10年9月まで辻野佳雄先生、平成10年1月から平成15年1月まで林忍先生、平成23年1月から同年12月まで和久本圭子先生が常勤でお勤めでした。その間、千貫裕子先生、赤木竜也先生、山崎亜矢子先生、渡部徹心先生、進藤真人先生、足立孝司先生、檜垣裕美先生、堤玲子先生が非常勤でお勤めでした。なお、平成19年から派遣大学は鳥取大学となっています。平成24年からは大藤聡が診療にあたっています。

診療の現状

備品面で皮膚科に特化したものは顕微鏡、ナローバンド紫外線B (nUUB) 照射器、液体窒素、デジタルカメラとデータ整理用PC、ダーモスコープがあります。CT、MRI、超音波診断は迅速に対応していただきスピード感ある診療ができます。薬剤では円形脱毛症に対する局所免疫療法剤squaric acid dibutylester (SADBE) や帯状疱疹後神経痛に対するカプサイシン軟膏が利用できます。マチワイヤーによる陥入爪の矯正もおこなっています。平成30年に新病院へ外来、病棟は移行いたしました。思い返すと旧病院では正面玄関をはいて左手、小児科外来の手前、コーナーをは

さんで売店の横が皮膚科外来でした。診察室内の中待合は二人がけベンチが2個。廊下で待っておられる方を診療が終了した方と入れ違いに中待合にお呼びするながれでした。中待合と診察室の間は布のカーテンの仕切りでした。いまから思うといささか配慮にかけていました。新病院の外来はプライバシーが守られる構造になりよかったです。平成24年以降、カメラはフィルムからデジタルに変わり、UVB照射器はナローバンドにかわりました。ノーベルコロナ、イオントフォレーシスは機材劣化による廃棄以後更新はありません。新病院外来移転時に軟膏調整用の台とヘラ、剃毛の道具、アルコールランプ、油紙などの被覆材などは整理いたしました。液体窒素保存タンク、移動式手術灯は旧病院のものを使用しております。昇降する診察台は更新されました。日常診療において、取り扱う皮膚疾患は多岐にわたります。爪・頭髮・粘膜部も対象となります。最近の外来受診者数を別にお示いたします(表1)。理学所見、病理組織所見、臨床検査所見、画像所見を組み合わせで診断し、保存的治療、観血的治療あるいは他の医師に相談することを選択します。最近では手術室での手術が増えています。境界領域疾患、有熱性発疹症、全身管理の必要な患者などは関連各科と連携をとっています。帯状疱疹後神経痛や骨髄炎併発皮膚潰瘍はその例です。さらに褥瘡診療に携わり、各科入院患者あるいは外来患者に対応しています。雲南地域にあつて当院は地域包括ケアシステムの中心としての役割を担う立場にあります。診断に苦慮し治療に難渋する患者は必要に応じて島根大学医学部

雲南市立病院皮膚科

著者連絡先：大藤 聡 雲南市立病院皮膚科〔〒699-1221 雲南市大東町飯田96-1〕

E-mail: hospital-soumu@city.unnan.shimane.jp

皮膚科

附属病院、島根県立中央病院、松江市立病院、松江赤十字病院、鳥取大学医学部附属病院などに紹介しています。

今後の展望

近隣施設との交流に力をいれ関連各位と連携し、よりよい医療を提供すべくこれからも研鑽を重ねたいと思います。

表1 最近の患者数の推移

| | 外来新患者数 | 外来再診数 | 入院患者数 | 手術室手術数 |
|-------|--------|--------|-------|--------|
| 2018年 | 1,488名 | 5,445名 | 25名 | 44名 |
| 2017年 | 1,506名 | 5,350名 | 25名 | 22名 |
| 2016年 | 1,523名 | 5,088名 | 37名 | 14名 |
| 2015年 | 1,486名 | 5,924名 | | 6名 |
| 2014年 | 1,445名 | 4,297名 | 29名 | 10名 |
| 2013年 | 1,464名 | 4,681名 | 17名 | 17名 |

Present status and future design of the department of dermatology of Unnan City Hospital.

Satoshi Ofuji

Department of dermatology, Unnan City Hospital

Correspondence: Satoshi Ofuji, MD, PhD, Department of dermatology, Unnan City Hospital [96-1 Daito-cho Iida, Unnan, Shimane 699-1221, JAPAN]

Telephone: 0854-47-7500 / Fax: 0854-47-7501

E-mail: hospital-soumu@city.unnan.shimane.jp